

無料立ち読み版

自宅が教室！

簡単フラワーアレンジメント講座

目 次

目 次

序章 フラワーアレンジメント基礎の基礎

荻野先生がフラワーアレンジメントに出会ったきっかけは？	9
これまで、どこでどんな事を学ばれたのですか？	9
フラワーアレンジメントの魅力は何でしょうか？	10
生活に花があるとどんな素晴らしいことが？	11
フラワーアレンジメントを始めるにあたっての大事なことは？	12
自宅で学ぶ人が上達する&楽しむコツは？	12
始めるにあたって、最低限必要な道具は何でしょうか？	13
あると便利な道具はこちら。	14
よい花の見分け方のチェックポイントを教えてください。	15
花材はできるだけ新鮮で健康的なものを使用しましょう。	15
アレンジ後の持ちが変わってきますよ。	15
つぼみで買うべき？ 満開で買うべき？	17
自宅に飾って長く楽しみたいときは、つぼみで買っていても。	17
ブーケや贈り物には満開のものがオススメです。	17
つぼみが可愛い花材もありますよ。	17
お花屋さんとの上手なつきあい方は？	18
「水あげ」について教えてください。	19
「水あげ」の目的は何でしょうか？	19
作業前に準備しておくものは？	20
「水あげ」の前の下葉処理について教えてください。	20
「水切り」の方法	21
湯あげの方法	22
根元割りの方法	23
延命剤の使い方	24
花の切り分けについて教えてください。	25
アレンジ後、長持ちさせるためのお手入れ方法は？	27
花色合わせの基本的な考え方を教えてください。	29
初心者におすすめの花器を教えてください。	31
工夫次第で個性的な花器の出来上がり！	32
本講座をどのように活用したら、長く楽しんで続けられ、かつ上達できるでしょうか？	34

目 次

## 第1章 まずは1本の花を素敵にアレンジ

この章で学べること .....	38
準備する花材 .....	39
準備する資材 .....	40
実践の前に……「花留め」とは何ですか？ .....	41
Version1：リボンを結んで…… .....	42
Version2：フルーツを使って…… .....	44
Version3：小石を使って…… .....	45
Version4：ガラスビーズを使って…… .....	46
Version5：ラフィアで井桁を組んで…… .....	47
第1章まとめ .....	49

## 第2章 身近な器でプチアレンジ

この章で学べること .....	52
準備する花材 .....	53
準備する資材 .....	54
実践の前に……「オアシス」とは何ですか？ .....	55
手順1：オアシスをカットし器にセットします。 .....	56
手順2：メイン素材から挿していきます。 .....	57
手順2：副素材 あじさいを挿します。 .....	59
手順2：副素材 セダムを挿します。 .....	60
手順2：グリーンと実物を挿します。 .....	61
表情を変えるアレンジテクニック .....	63
第2章まとめ .....	66

## 第3章 お持たせにぴったりなミニブーケ

この章で学べること .....	68
準備する花材 .....	69
準備する資材 .....	70
手順1：下葉を処理します。 .....	71
手順2：麻ひもを使って花束を作ります。 .....	72

目 次

手順3：麻ひもで縛ります。.....	75
手順4：水落ち防止の処理をします。.....	77
手順5：ラッピング.....	79
第3章まとめ.....	83

## 第4章 テーブルを彩る基本アレンジメント

この章で学べること.....	86
準備する花材.....	87
準備する資材.....	88
実践の前に……「ポージースタイル」とは何ですか？.....	89
手順1：オアシスの準備をします。.....	90
手順2：メイン素材から….....	92
手順3：副素材を挿します。.....	95
手順4：実ものを挿します。.....	98
手順5：全体のバランスを整えます。.....	99
表情を変えるアレンジテクニック.....	100
第4章まとめ.....	101

## 第5章 壁際を彩る基本アレンジメント

この章で学べること.....	104
準備する花材.....	105
準備する資材.....	106
実践の前に……「フロントフェイススタイル」とは何ですか？.....	107
手順1：オアシスの準備をします。.....	108
手順2：ライン状の花材でアレンジの高さを決めます。.....	110
手順3：頂点から左右へのラインをつくります。.....	111
手順4：正面にせりだすラインをつくります。.....	114
手順5：輪郭を強化していきます。.....	116
手順6：全体のバランスを整えます。.....	117
第5章まとめ.....	120

目 次

## 第6章 やっぱり定番のクリスマスリースは自分で

この章で学べること .....	122
準備する花材 .....	123
準備する資材 .....	124
手順1：オーナメント作り① シナモンスティック .....	125
手順1：オーナメント作り② 松かさ .....	126
手順1：オーナメント作り③ くるみ .....	127
手順1：オーナメント作り④ リボンのタッセル .....	128
手順2：ヒムロスギをリースに留めていきます。 .....	129
手順5：ボリュームを調節します。 .....	135
表情を変えるアレンジテクニック .....	141
第6章まとめ .....	143

## 第7章 大切な人に感謝の気持ちを込めて花束を

この章で学べること .....	146
準備する花材 .....	147
準備する資材 .....	148
実践の前に……花束の基礎 「ブーケロン」とは何ですか？ .....	149
手順1：下葉を処理します。 .....	150
手順2：麻ひもを使って花束を作ります。 .....	152
手順3：仕上げ .....	155
第7章まとめ .....	159

## 第8章 気軽に花瓶のアレンジメント

この章で学べること .....	162
準備する花材 .....	163
準備する資材 .....	164
手順1：花留めをつくります。 .....	165
手順2：花束をほどこしましょう。 .....	166
手順3：枝ものから挿していきます。 .....	167
手順4：メインと副素材を挿していきます。 .....	170
手順5：仕上げに実ものでアクセントをつけます。 .....	171
第8章まとめ .....	174

目 次

## 第9章 憧れのウェディングブーケにチャレンジ！

この章で学べること .....	176
準備する花材 .....	177
準備する資材 .....	178
実践の前に……ブーケホルダーに上手に挿すコツ.....	179
手順1：ブーケの輪郭をつくります。.....	180
手順2：隙間を埋めていきます。.....	184
手順3：リボンで仕上げをします。.....	186
表情を変えるアレンジテクニック.....	192
第9章まとめ .....	195

## 終章 さらにフラワーアレンジメントの世界を楽しむには

フラワーアレンジメントの上級レベルには、どのような作品があるのでしょうか。参考までに教えてください。.....	199
さらに自分で上達していくには、どんなことに取り組みばいいですか？.....	202
荻野先生はどのように上達してきたのですか？.....	202
上達が早い人は、どんなタイプの人ですか？.....	203
荻野先生は作品のイメージをどのように思いつくるのですか？.....	203
フラワーアレンジを取り入れたオススメのライフスタイルは？.....	204
Message from Sayoko Ogino.....	205
著作権について .....	206
使用許諾契約書 .....	206

# 序 章

---

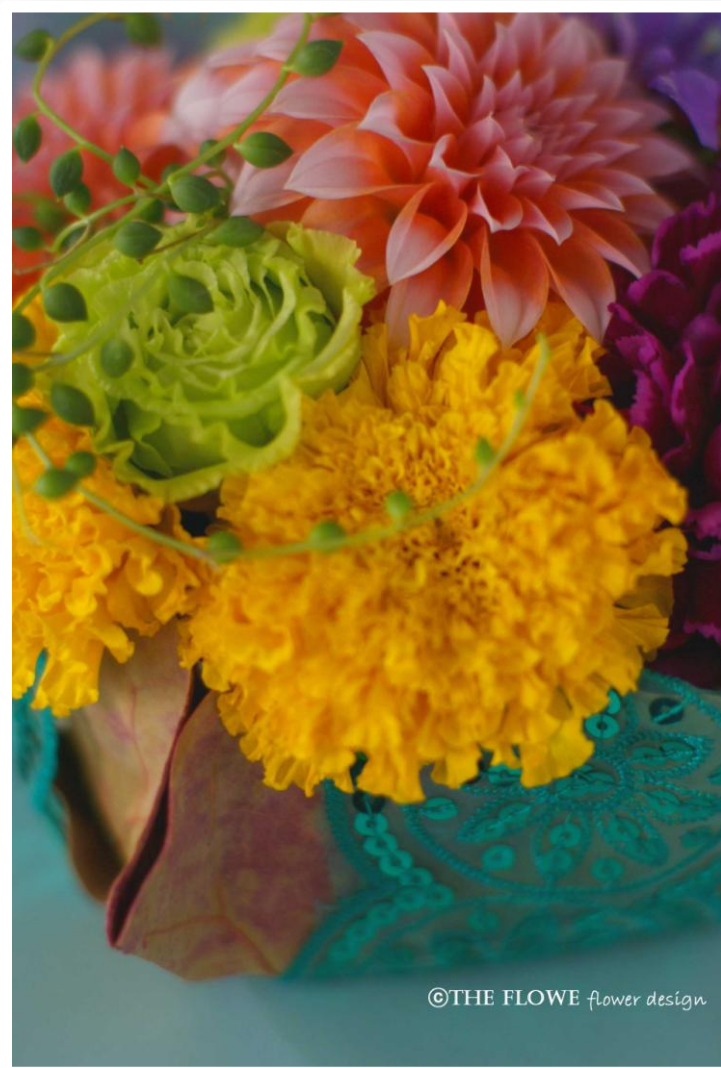


---

## フラワーアレンジメント基礎の基礎

---





素敵！ きれい！ 楽しい！

フラワーアレンジメントを通じて出会う  
小さな感動やドキドキが  
きっと「自分磨き」に通じているはず

気負わずリラックスしながら  
ゆっくりとレッスンをお楽しみください。



## 荻野先生がフラワーアレンジメントに出会ったきっかけは？

### 学生時代に友人から誘われて……

学生時代に、学校の友人の方からのお誘いを受けてフラワーアレンジメントのレッスンに通いました。これが、私とフラワーアレンジメントの出会いになるのですが、まさか将来的に職業にしようとはこのとき思っていませんでしたね(笑)。本格的に学び始めたのは、大学卒業後に1年間渡英したときです。

## これまで、どこでどんな事を学ばれたのですか？

イギリスに渡った際、ロンドンの代表的フラワーデザイナー、ジェーン・パッカーが主宰する「Jane Packer school of flowers」でお花の勉強をしました。その後、運よくジェーン・パッカーのフラワーショップ(ロンドン)とフラスクールでアシスタントとして働きながらさらに深く学びました。帰国後には、JANE PACKER FLOWER SCHOOL 日本校でスタッフとして働くことができました。仕事を通じてさらにフラワーアレンジメントのことを学んだという感じです。



## フラワーアレンジメントの魅力は何でしょうか

### 自分のアイデアによって、素敵なものをつくりだす面白さ

お花はそのままの姿でも十分に美しく、私たちが癒してくれる存在です。花々に囲まれることは、喜びやリラックスに通じていると、実感している方もたくさんいらっしゃるでしょう。フラワーアレンジメントは、そこにさらに自分流の工夫をこらして、デザイン性の高いものに仕上げていきます。このときのドキドキ、ワクワクとした気持ちは何にも代えがたい面白いものだと私は思います。



## 生活に花があるとどんな素晴らしいことが？

### フラワーアレンジメントに興味を持ちだすと……

#### ●これまで以上に、お花に目が行くようになります。

ショップのディスプレイにも興味深々。四季のうつろいに敏感になります。

#### ●プレゼント選びに困らなくなります。

ちょっとしたアレンジはお友達へのプレゼントやおみやげに最適♪

#### ●花束を頂いたときに、素敵に飾ることができます。

花束をもらうのが今まで以上に嬉しくなるはず！

#### ●お花を飾る場所にこだわり、インテリアのセンスがアップ

せっかくなら飾る場所も綺麗にしたいくなるものです。お掃除もマメに??

#### ●ガーデニングや、写真撮影にも興味がわく

自分でお花を育てることや、アレンジ作品をカッコ良く撮影することなど、フラワーアレンジメントをきっかけに新たな趣味への挑戦意欲がわきます。

などなど

## 五感に磨きがかかり、視野が広がります。

アレンジをするときは、日常生活ではあまり使わない感覚や思考が研ぎ澄まされる気さえます。昨今話題の「脳トレ」の一つと言っても過言ではないでしょう。フラワーアレンジメントは、内面から自分に磨きをかけるレッスンとしての役割も大きいのです。

## フラワーアレンジメントを始めるにあたっての大事なことは？

**上手に作らなくちゃ、と気負う必要はありません。**

肩の力を抜いて、自由な発想のもとにフラワーアレンジメントを楽しんでくださいね。デザインは無限で、正解・不正解でわけられるものではないのです。まずはご自身が、「あ、かわいい」と素直に思えるものをつくれればいいと私は思います。誰にやらされるものでもなく、何より、「自分のため」の楽しみなのですから。

## 自宅で学ぶ人が上達する&楽しむコツは？

**まずは、DVDをじっくり見てイメージを掴みましょう。  
実践は何度も繰り返して試みるのが大切です。**

付属 DVD の映像は、アレンジ中の手元をアップで撮影していますので、教室でレッスンを受ける以上に間近で指先の動きを確認できると思います。聞き洩らしやわかりづらいことがあっても、映像ならすぐに繰り返してチェックできます。ですから、はじめはじっくりと DVD をご覧になってみてください。そして、気軽に実践を。一度やればなんとなくコツがつかめて、次はこうしてみようかしらとご自分なりのアイデアも浮かぶはずです。花材や器を変えれば、飽きずに何度も楽しめますよ。何度も繰り返すことによって、基礎をしっかりとマスターできるはずです。

できあがった作品は、ぜひご家族やお友達に見てもらいましょう。写真に残せば、ご自分の腕前を振り返ることができます。また、本教材の特典であるメールサポートをご利用になると、私から作品へのアドバイスが可能です。(付属の特典をご参照ください)

## 始めるにあたって、最低限必要な道具は何でしょうか？



### はさみ1本から始めることができます！

はさみは、フラワーアレンジメント用のものがオススメです。

花材はもちろん、ワイヤーやリボンも切れるのが特徴。

一般価格は2000円位。資材店やクラフトショップで購入できます。

はさみは切れ味が命。

一緒に、ハサミ砥ぎもあると便利です♪

(上の写真のハサミ砥ぎは右図のように使うタイプです。)



あると便利な道具はこちら。



#### ポリ製の水差し

活けたお花の隙間から水をいれるのに便利。オアシスを使ったアレンジへの水分補給にも使えます。



#### 柄つきスポンジ

花瓶の洗浄に使います。細長い形状の器にも対応できるのが◎。



#### バラのトゲ取り

トングのようですが、バラのトゲをとる道具です。先端で茎をはさみながら引くだけでトゲがとれます。



#### 除菌アルコールスプレー

キッチン用に市販されているもので OK。花瓶や道具を消毒しておけば、雑菌の繁殖予防になります。

## よい花の見分け方のチェックポイントを教えてください

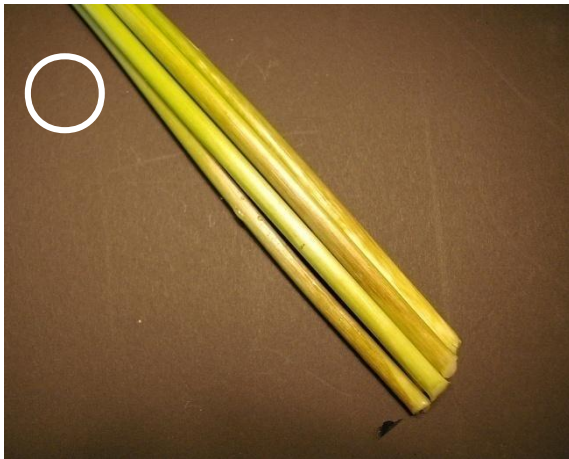
花材はできるだけ新鮮で健康的なものを使用しましょう。  
アレンジ後の持ちが変わってきますよ。



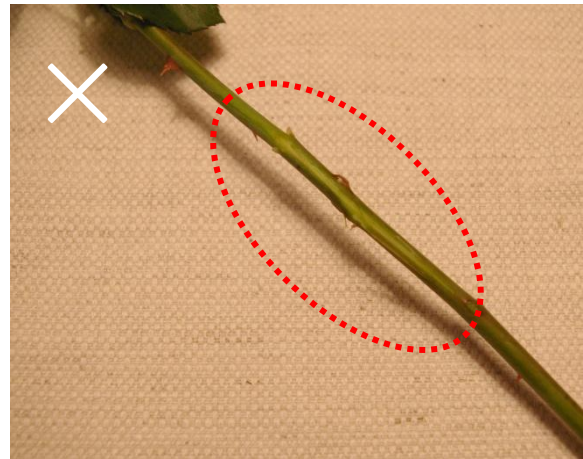
○健康的なガーベラです。花弁がみずみずしく、一枚一枚にハリがあります。



×老化が進んでいるガーベラです。外側の花弁がしおれています。また、中央部の花芯が開ききっています。



○茎に傷がないものを選びましょう。弾力があり、色がくすんでいないものが新鮮です、ぬめりは劣化の証拠ですから要チェック。



×茎にキズがあるバラ。トゲや下葉を処理した際に誤って傷ついてしまっていることが、こうなっていると雑菌が入りやすく長持ちしません。



○花の裏側もチェックしてください。ガク部分の先端までみずみずしいものは新鮮です。しおれているものや変色しているものは持ちがよくなりません。



○ライン状の花は、下から痛んできます。花卉がしおれていないか、いろいろな角度からチェックしましょう。



○グリーンは、キズや穴がないかチェックしてください。葉のふちが変色しているものや、カサついているものも避けましょう。



×小花は茎を持って軽く振ってみましょう。パラパラと散ってしまうものは新鮮でない可能性があります。実物も落ちやすいものは要注意。

見てすぐわかるようなダメージがある花材が店頭で並ぶことはあまりないと思いますが、参考までにチェックポイントを覚えておきましょう。

鮮度について気になる点は、お店の方にも相談してみると安心です。



## つぼみで買うべき？ 満開で買うべき？

自宅に飾って長く楽しみたいときは、つぼみで買っていても。

ご自宅に飾る場合は、つぼみから開花までの変化を楽しむのも面白いと思います。ただ、つぼみによっては、開かずに終わってしまう場合もあるので、開花の兆しがあるものを選んで購入するとよいでしょう。つぼみ全体がふっくらとし、色づいているものは間もなく花開くはずです。

ブーケや贈り物には満開のものがオススメです。

すぐに使うブーケや、おみやげに持っていくアレンジには、やはり満開の花材を使った方が華やかさを演出できると思います。とくに、ウェディングブーケは花材の開き方ひとつで出来上がりの大きさやイメージが変わってきますから、慎重に咲き時を見極めたいところ。初心者の方は、実際に使用する数よりも多く花材を用意しておいた方が安心です。その中から丁度よい開花状態のものを選ぶようにするとよいでしょう。

つぼみが可愛い花材もありますよ



左のセダムのように、つぼみが可愛い花材もたくさんあります。つぼみの形状もデザインのひとつと考えると面白いですね。開花時とはまた違う表情を楽しんでみてはいかがでしょうか。

## お花屋さんとの上手なつきあい方は？

ひいきのお花屋さんがあると便利。趣味が合うお店をみつけて。

最近では、どの街にもお花屋さんが増えたように思います。それぞれのお店の個性をチェックしていくと、そのお店が仕入れを得意とする花材の傾向が見えてくるはず。店頭にならぶアレンジからはデザインのセンスが伺えるでしょう。そういったものをたくさん見比べて、ご自分の趣味に合うお店を探してみてください。お店の人には、お花のお手入れの仕方や、旬の花材、新しい品種など、気になることをどんどん質問してみてください。耳よりの情報が入るかもしれませんよ。



## 「水あげ」について教えてください

### 「水あげ」の目的は何でしょうか？

切り花は茎の切り口が空気にふれて乾いてしまうと水を吸えなくなってしまいます。一方、葉からは常に水分が蒸散されていくので、この結果どんどんしおれてしまうことに。これを食い止め、植物の吸水力を補助してあげる作業が「水あげ」です。

方法はいくつもありますが、基本的には、植物の茎にある、水を吸いあげるための導管の内部から空気を追い出すというのが共通の目的です。

今回は、代表的な「水切り」「湯あげ」「根元割り」という3つの手法をご紹介します。花材のタイプや、水の落ち具合に応じて行ってください。

このひと手間を惜しまなければ、少々元気がないお花も、再びイキイキとしてきますよ。アレンジの仕上がりに大きく差が出ます。ぜひマスターしてくださいね。



## 作業前に準備しておくものは？

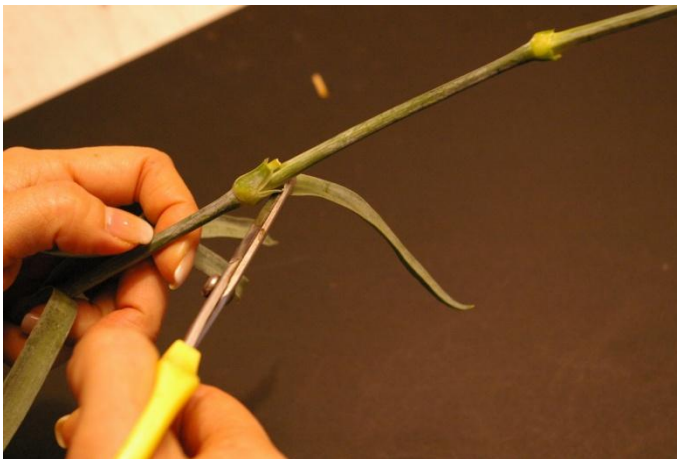
**切れ味のよいはさみ** ……事前によく砥いでおきましょう。

**新聞紙** ……花材をまとめたり、作業場所にひいたり大活躍。

**大きめのボウルやバケツ** ……花材を十分に浸せる大きさのものを。

## 「水あげ」の前の下葉処理について教えてください

花材を買ってきたら、すぐに水あげをします。  
その際、下準備として以下のことを行いましょう。



### 【下葉処理】

花材の全長の下から3分の1くらいの葉を取り除いてください。

このように、活けたときに水につかってしまう葉を取り除いておけば、水を汚さず、花材が長持ちします。また、葉を減らすことで保水力を高める効果も。



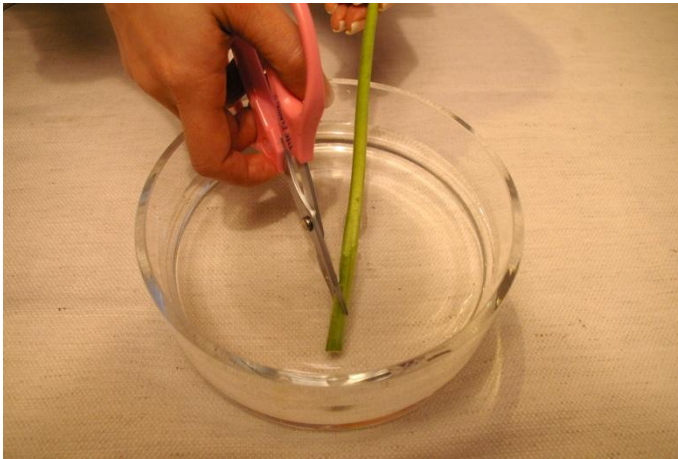
茎の表皮をさかむいてしまうとそこから雑菌が入り込みやすくなります。手で下葉処理をするとこうなりやすいので、慣れないうちは、はさみを使ったほうがよいかもしれません。

## 「水切り」の方法

水中で茎を切る方法です。簡単ですが、効果は抜群。

水の中でカットすることにより、茎に水圧がかかり吸水が促進されます。

ほとんどの花材に適した方法ですのでまずはこの「水切り」を試してみてください。それでも花に元気が戻らなかったら別の方法を試すとよいでしょう。



茎を水中でカットします。切り口は斜めに。直角に切るよりも表面積が増え、より水を吸い上げやすくします。

流水にあててカットしても効果は得られません！ 必ず水中でカットしてください。



カットした瞬間、ぷくぷくっと気泡がでてきます。これが水が上がっている証拠。最低3秒間は水中でキープして。

その後、葉の下までつかる量の水をはった容器に素早く移し替え、1時間以上置いたら作業完了です。

1時間経っても、花材にハリやみずみずしさが感じられないときは、もう一度試してみましょう。同時に、ハサミや水が汚れていないか確認を。

使用後のハサミはきれいに拭き取っておくことをおすすめします。雑菌の繁殖や錆を防いで、いつでも快適に使えるようお手入れしておいてくださいね。

## 湯あげの方法

お湯を使うテクニック。お湯に茎をつけることによって、導管内の空気を膨張させて外に追い出し、次に水につけることによって導管に圧力がかかり、水分を吸い上げる、という温度差を利用した物理的なしくみです。熱殺菌効果も得られます。



①上部に熱や湿気を伝えないようにするために、根元から10センチ以外は新聞紙でくるんでしまいます。とくに巻き始めには、隙間ができないようきっちり巻いてください。



②60℃以上のお湯に根元3～4センチを浸します。つけた部分が、熱で変色したら OK。時間にして約5～6秒くらいです。



このように変色します。お湯の中では緑が濃くなりますが、水に移し替えると茶色に変色します。このままアレンジに使用できます。もし色が気になるときは、変色部分よりも上の位置で「水切り」をしてください。



③お湯からひきあげたら、すばやく冷水に移し替えます。このまま1時間以上置き、新聞紙をほどいたら完了です。

## 根元割りの方法

おもに枝もの全般に使える方法です。茎が堅いものや太いものは、はさみをつかって根元に切り込みを入れて断面を広げます。茎が太ければ太いほど、大きく割広げたほうが効果的。



①根元から茎に平行に刃を入れます。キズをつける程度ではなく、きちんと割り広がるまで切り込みましょう。



②最初の切り込みに対して直角に、もう一度刃を入れます。十文字に切れ目をいれるよう意識して。

③切り込み部分が完全にひたる量の水にさしたら作業完了です。

※枝が細いときは、一文字でも大丈夫。

※力がある作業です。はさみの取り扱いには十分気をつけてください。

※枝ものは切り口から樹液を出すものがあり、水を汚す原因にもなります。水あげ後にアルコールなどの薬品を使って殺菌した方がよい場合も。詳しくは購入時にお店の方に相談を。

## 延命剤の使い方



市販の切り花用延命剤には、殺菌成分と花の栄養になる糖分が配合されています。これ自体に水上げの効果があるわけではないので、必ず水上げを行った後に使用してください。粉末タイプと液体タイプがありますが、どちらも説明書をよく読み、規定の量を守りましょう。1度に複数の薬品を混入させるのはタブーです。



よく洗った花器に水と規程量の延命剤を入れて混ぜるだけ。ここに水あげした花材を挿します。

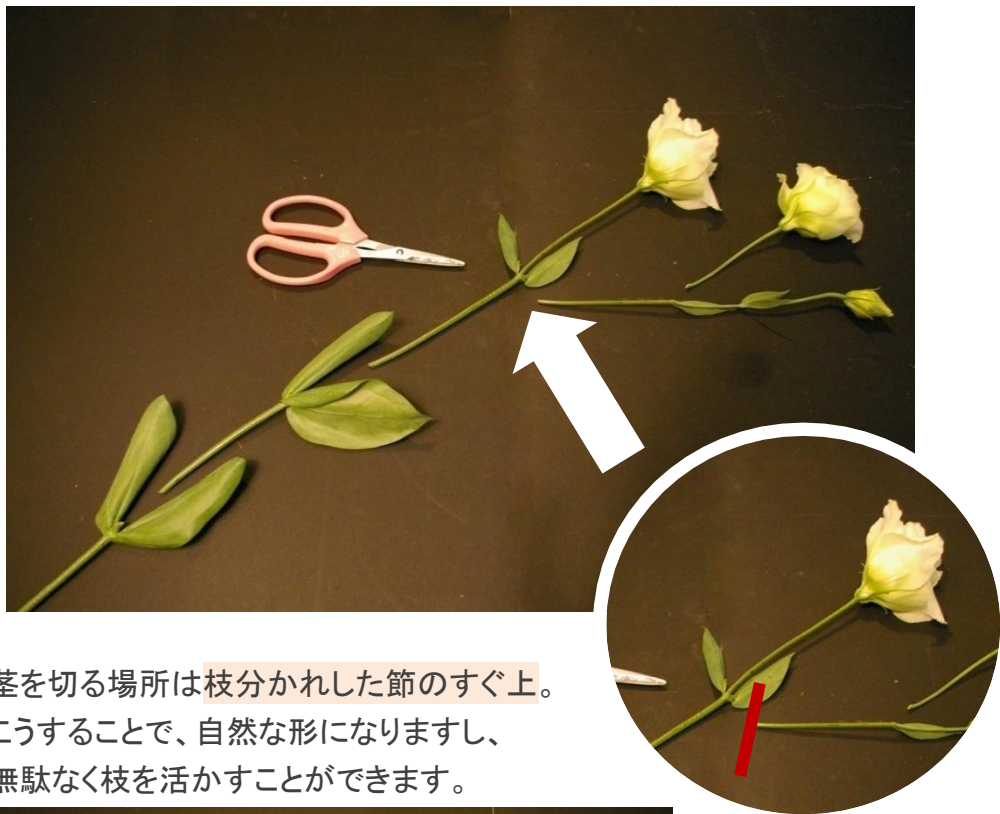
水替えを行ったら同様に延命剤を使用しましょう。



## 花の切り分けについて教えてください

1本の茎から枝分かれして咲く花材は切り分けて使います。

上から順にカットしていくのが基本。



茎を切る場所は枝分かれした節のすぐ上。  
こうすることで、自然な形になりますし、  
無駄なく枝を活かすことができます。



1本の花から、5つのパーツに切り分けることができました。

小花が群れて咲く花材(フィラーフラワー)は切り分けて使うと  
アレンジのボリュームやフォルムを調節するのに便利です。



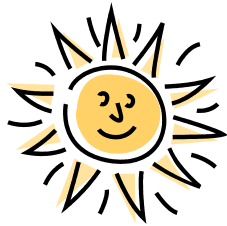
茎の長さをなるべく同じにするのがポイント。  
主枝から派生する茎を、枝元でカットします。



小花は、アレンジに欠かせない副素材として活躍します。

## アレンジ後、長持ちさせるためのお手入れ方法は？

完成後のお手入れを日課にすれば、お花を長く楽しめます。



夏は 毎日

冬は 3日に1度



できればこのくらいの頻度でお手入れをしたいものです。  
水が濁るのは、雑菌が繁殖したサイン。  
手遅れになる前に水を替えましょう。

### お手入れのポイント

#### ①茎のぬめりを落とす！

水に浸かった茎はバクテリアの影響をうけてぬめります。放置しておくと腐る原因に。一本一本、丁寧に洗いましょう。

#### ②茎を切り戻す

茎の切り口を新たに切ります。これを、「切り戻し」と言います。これにより、吸水力がアップ。茎元から2～3センチを水の中でカットします。

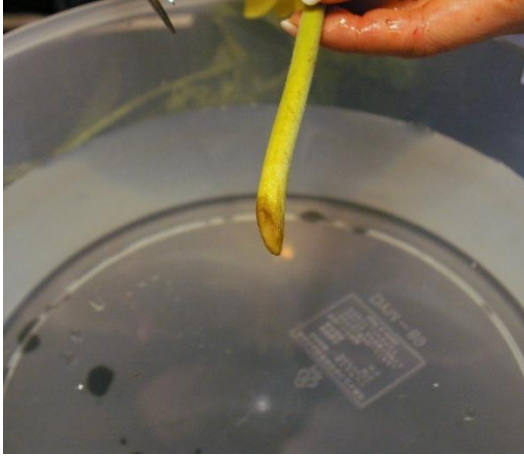
#### ③花器を丁寧に洗う

器もよく洗います。ぬめりが残らないように、柄つきブラシなどを使って底までよく洗いましょう。

#### ④清潔な花器にいけ直す

器に水と延命剤を入れ、花材を活け直します。切り戻しにより丈が短くなっているので、新たなデザインを考えるとよいでしょう。

### お花は綺麗に咲いていても……



茎の切り口が茶色く変色し、指で触るとぬるぬるしています。



ぬめりを洗い落とし、切り戻しをしました。これで再び水がよくあがり、元気に

### 洗浄と切り戻し



①花材の茎をよく洗います。このとき、痛んでいる葉や花があれば、取ってしまいましょう。



②切り戻しは必ず水の中で行います。根元から2～3センチを斜めにカットしましょう。切り戻し後はしばらく水につけておきます。この間に花器を洗うと効率がいいですね。

作業後は、再びアレンジを楽しんでください。器を替えてみるのもよいでしょう。

## 花色合わせの基本的な考え方を教えてください。

### 同系色・類似色の組み合わせからはじめてみては？



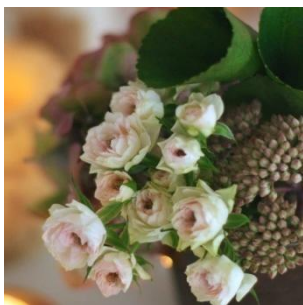
初心者の方は、まず同系色や類似色で花材をまとめるとよいでしょう。色の濃淡で表情をつけるのが、同系色の組み合わせ。類似色は色の近いもの同士での組み合わせです。どちらも統一感が出やすく、まとまりのあるアレンジに仕上がるはず。

### まず失敗しないであろう組み合わせは、白 × グリーン。



白やアイボリーと、グリーンの組み合わせは、とくに失敗知らずだと思います。白系の花材と、その葉を組み合わせるだけでも十分素敵なアレンジになるでしょう。メインの花と副素材の花の質感の違いなどで、印象を奥深いものにできればバッチリです。

### メインの花材にある色と同じ色を副素材にもってくと◎。



メインの花材の花弁部分の色や、葉の色にも注目してください。それに近い色のものなら、相性のよい色合わせになるはずです。花弁の色と違って、統一感が出るでしょう。

以下に花色合わせのサンプルをご紹介します。

最初は、「真似っこ」から入るのも上達の秘訣です。お好きな色合わせに挑戦してみてくださいね。



*Refresh*

**White**  
**Green**



*Warm*

**Red**  
**Orange**  
**Brown**



*Cool*

**Lime green**  
**Purple**



*Vitamin*

**Orange**  
**Yellow**  
**Lime green**



*Freshness*

**White**  
**Yellow**  
**Green**



*Lovely*

**Pink mix**



*Modern*

**Purple**  
**Orange**  
**Green**



*Cool &  
Freshness*  
**Lime green**  
**Dark green**  
**Pale green**



*Sweet*

**Peach**  
**White**  
**Baby pink**

初心者におすすめの花器を教えてください。



花瓶がないとアレンジができない、なんてことはありません。



身の回りにあるものが工夫次第で素敵な花器に変身します。グラスやティーカップ、空きビンはもちろん、紅茶の缶だって使えます♪

既成概念にとらわれず、ご自分なりのアイデアを自由に試してみてくださいね。

次に個性的な器の一例をご紹介します。

## 工夫次第で個性的な花器の出来上がり！

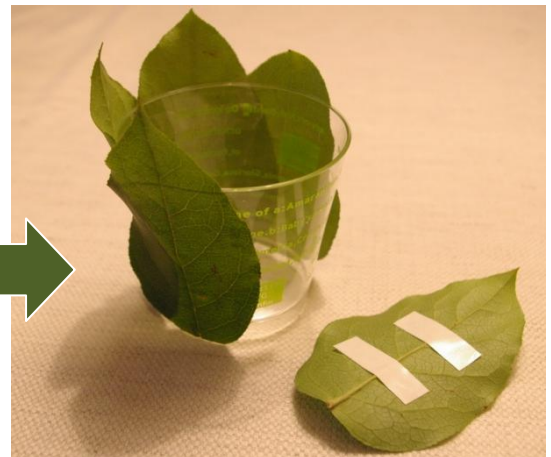
### 底に穴が空いている植木鉢も……



素焼きの素材感がかわいらしい植木鉢。でも、穴が合っているからお水を入れられない…… そんなときは！

中に小さなコップやプラ容器を入れてしまえば OK。外側の入れ物から見えないサイズのものを選んでくださいね。

### プリン空き容器に葉っぱを巻いて…



市販のスイーツの空き容器。そのまま使うのは味気ないので、おめかしをしましょう。

葉の裏に両面テープをつけたレモンリーフを、容器にぐるりと貼りました。同じようにすれば、ペットボトルをカットしたものも個性的な器に変身！



### シンプルなガラスの花瓶も……



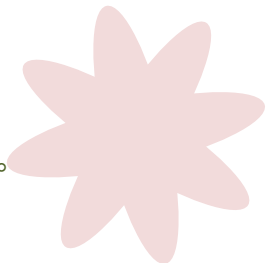
中が見えてしまうガラスの器にオアシスを  
入れたアレンジメントをしたい場合……

オアシスをハランで巻いたものを中にセ  
ット！こんな風にオアシスを隠します。い  
つもと気分を変えて、モダンなアレンジに  
挑戦したくなりますね。



これ←何だと思えます？ 実は  
キャンドルなんです。  
キャンドルの上にドーム型のオ  
アシスをセットしてみました。  
こんなふうに、雑貨にお花をほ  
どこすことも可能です。

身近な器を使ったアレンジは、  
本教材の「第2章 身近な器でプチアレンジ」でもご紹介します。  
お楽しみに♪



本講座をどのように活用したら、長く楽しんで続けられ、かつ上達できるでしょうか？

## テキストを読む

まずは教材本編のテキストをめくってみてください。アレンジのつくり方はもちろん、ラッピングの仕方など役立つ情報が満載です。必要な花材と資材を確認し、作品完成までの流れを頭に思い描いてみましょう。

## DVDを見る

付属の DVD を活用し、アレンジが出来上がるまでを詳しく見てみましょう。わからないところは何度も繰り返して確認を。

## 実際にアレンジを試みる

流れがつかめたら実際にアレンジしてみましょう。もちろん、作業中にテキストやDVDをチェックしてOKですよ。また、お花を仕入れに行くときにもテキストを持参すると揃えるべきお花の種類がわかって便利です。

## メールサポートを活用する

プレミアム特典であるメールサポートはぜひご活用ください。出来上がった作品の画像を添付してメールをいただければ、私荻野が直接作品に対するアドバイスさせていただきます。ご購入から1年間に6回までご利用いただけます。

## 花材や花器を変えて再チャレンジ

一度つくってお終いではなく、同じテクニックを活かして違うアレンジに挑戦してみてください。また、プレミアム特典「お財布にも優しいアレンジ後のイメージチェンジ法」も必見です。美しく咲いているお花を長く堪能するためにも、ご自分なりの工夫を凝らしてみてくださいね。

## お友達にプレゼントしてみる

人に褒めてもらうことは、やる気を高める一番の方法かもしれません。作品づくりに慣れてきたらアレンジをお友達に贈ってみましょう。「誰かのために」、という心がこもると腕前も上達しますよ。プレゼントする際は、プレミアム特典「ラッピング基本講座」もぜひ参考にしてください。

こうして、ひととおり本教材を活用していただきますと、  
フラワーアレンジメントの世界が  
いかに楽しく奥深いものかご理解いただけると思います。

決して難しいものではありません。

まずは、次の章から始まる、  
「一本の花」のアレンジに挑戦されてはいかがでしょうか♪

どうぞ、ゆったりリラックスしながらお楽しみください。